

授業科目名	ことばとコミュニケーション	担当教員名	栗辻 智子
科目区分	基礎科目	施行規則に定める科目区分等	外国語、体育以外の科目
必修-選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / ※令和8年度は開講しません	特記事項	
授業の概要及び全体目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解、他者理解、社会的スキル、ことば選び、コミュニケーションの基礎的知識について学ぶと同時に、自らのコミュニケーション能力について客観的に捉え、よりよいコミュニケーションを作るための効果的な方法を学習する。 発表やディスカッション、意見交換などの活動を積極的に取り入れ、「話す力」「聞く力」の向上を目指す。実際に演習を実施し、コミュニケーションスキルを身につける。 状況や相手に合わせたコミュニケーションを通したより良い人間関係の構築。 （ヘアワークやロールプレイなどの自分自身の言葉でアウトプットする演習を多く取り入れる） 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニケーションとは何か、その意味や必要性、重要性について考えることができる。 ②コミュニケーションを通して、自己を振り返る手がかりを得ることができる。 ③コミュニケーションの基本的な知識と技術を知り、他者との関係をつくる基本的な態度を習得する。 ④状況や相手に合わせた言葉を選んだコミュニケーションを進めながら、良好な人間関係を築くことができる。 		
テキスト	毎授業において、講師作成による専用資料の配布あり。		
参考書・参考資料等	教科書は特に指定しない。授業中に適宜紹介する。		
成績評価の方法	【平常点】30%（授業態度、授業への取り組み姿勢等） 【コメントペーパー提出】20% 【期末レポート】50%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	【事前学習】授業で指示する。 【事後学習】授業内でコメントシート提出を指示する。 ※授業に関する質問は、対面で質問してください。また質問シートに記載し次回授業時に提出してください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	自己紹介から始めるコミュニケーション ・講師および受講生の自己紹介 ・授業方法と授業内容の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明	①	
第2回	コミュニケーションとは ・自己理解と他者理解 ・良好なコミュニケーションに必要な要素	①,②,③	
第3回	ことばを学ぶ① ～適切なことばの選び方～ ・ことばと社会的要因（年齢・性別・職業など）の関係、ことば選びの大切さ、現代用語・ビジネス用語・略語等を学ぶ ・場面に相応しいことばを選ぶ	③,④	
第4回	ことばを学ぶ② ～敬語～ ・敬語の種類、使い方、クッション言葉を学ぶ ・言葉遣いワークシート	②,③,④	
第5回	コミュニケーションスキル① ～共感・傾聴・質問～	②,③	
第6回	コミュニケーションスキル② ～勇気づける・褒める・承認する～	②,③	
第7回	コミュニケーションスキル③ ～ことばを書く（文字で伝えるコミュニケーション） / 異文化コミュニケーション～	①,②,③	
第8回	・前半授業（1回～7回）での学びの復習 ・さまざまな場面を想定した実践演習①	②,③	
第9回	2Wayコミュニケーション	③,④	
第10回	アサーティブコミュニケーション①	②,③,④	
第11回	アサーティブコミュニケーション② ～Iメッセージ&YOUメッセージ～	②,③,④	
第12回	さまざまな場面を想定した実践演習②	②,③	
第13回	プレゼンテーション ～伝えたいことを分かりやすく相手に伝える～	①,②,③	
第14回	人間関係構築（安心・信頼）に必要なコミュニケーション	②,③,④	
第15回	授業のまとめと学びの発表	①,②,③,④	